

大山町議会体制を整える

議長に野口俊明氏、副議長に西山富三郎氏

大山町議会は1月18日、臨時議会を開き、故荒松廣志議長の後任として、議長に野口俊明議員、副議長に西山富三郎議員を選出しました。また、議会広報調査特別委員長に竹口大紀議員を選出し議会体制を整えました。



西山富三郎副議長



野口俊明議長

議長就任 あいさつ

野口 俊明

私は、思いがけない荒松議長の急逝により、議長に就任となりました。

現在の経済環境においては、地方情勢は大変厳しく、また国政も不安定・不明確な状態であります。わたくしたち大山町議会は、多くの問題に対処すべく、前議長が新たに設置された、3つの特別委員会にて議会活性化を行ってきております。

地域産業に活力を与えるために設置された、地域産業活性化調査特別委員会では、現在、産業の振興に向けて調査研究中でありますし、地域自治組織調査特別委員会では、少子高齢化で集落機能の低下が増大する現状を認識しながら、昨年9月に中間報告をし、3月定例会では、答申を出す状況までできています。議会改

革調査特別委員会においては、昨年9月、12月に中間報告を行い、議会改革として各種団体との懇談会の実施、議会報告会の開催、委員間討議の充実など数項目の取り組みをめざしています。

大山町議会は、このような議会活動を通し、住民生活の向上、町政活性化、地域基盤の充実、農林水産業と商工業の振興、観光の振興、青少年の健全育成と幼児教育を含めた教育環境の充実、高齢者福祉の充実と弱者対策、人権問題など住民生活全般について「分かりやすい議会」「開かれた議会」を目指して議論を重ねていきたいと考えています。故荒松廣志氏のご冥福をお祈り申し上げながら就任のご挨拶といたします。